

伊勢市教育研究所

# たよ町



<第1号>

<http://www.ise-mie.ed.jp/~kenkyusyo>  
E-mail:kyo-kenkyu@city.ise.mie.jp

令和3年5月10日  
伊勢市教育研究所  
伊勢市小俣町元町540番地

## *Imagination Creates Tomorrow.*

伊勢市教育研究所長 西村 朱美

薫風の中の深呼吸が生命力を感じさせる季節でありながら、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の状況下であり、自粛を強いられる生活スタイルとなっています。当初は、5年の計画で実施予定であったGIGA スクール構想の実現に向けた環境整備もコロナの影響で前倒しとなり、伊勢市でも昨年度末には高速大容量の校内LAN(ネットワーク)の敷設と児童生徒に1人1台のタブレット端末の配置が整いました。確かに数年前のTVコマーシャルでは、毎日のようにタブレット端末の映像と「日本の教育が変わる」という言葉が流れていましたが、まさかこれほどの速さで整備が進むとは予想だにしませんでした。今年度は、伊勢市のICT教育の変革期といっても過言ではありません。目の前の子どもたちにどのようなICT教育が効果的なのか、じっくりと考え取り組んでいくことが求められています。

「よりよいICT教育とは?」、まだまだ模索し続けなければなりません。従来の教育の良さを大切にしつつ、新しい指導方法を確立していく必要があります。まずは、先陣を切って活躍している方々の主張に耳を傾けようと思いました。そして、出会ったのが *Create Tomorrow* です。これは、全国ICT教育首長協議会の会長である佐賀県多久市の横尾市長のお言葉ですが、とても心に響きました。そして、私自身も、このお言葉をヒントにして、*Imagination Creates Tomorrow* と考えてみました。「想像力で明日を創造する」これは、Society5.0を生き抜くためにとても重要な資質ではないでしょうか?

ICT教育を通して、豊かな未来を創造する(切り拓く)ための想像力を子どもたちに育みたいと考えます。まだまだ課題は山積していますが、教育研究所職員一同全力を尽くしてまいります。どうぞ、本年度もご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

Q よのなか科で一世を風靡した藤原和博校長の「子どもたちになくなる仕事の動機づけをしてはいけない」という言葉も衝撃的でした。藤原校長は、「電車の運転手と車掌は、将来なくなる仕事か?」という課題を出されました。答えは…?

(答えは裏面に)

### 令和3年度 研究委託事業

#### 教育研究プロジェクト

- 歴史教材の活用に係る実践研修 【小中学校1校】
- 幼稚園教育に係る実践研修 【明野幼稚園】
- 今日的課題に係る実践研修 【中島小学校】

## 電話相談カードを 贈呈していただきました



毎年、伊勢ロータリークラブ様から、子どもたちが困ったときや悩みのあるとき、一人で苦しまずに相談できるようにと、平成8年度より「電話相談カード」を贈呈していただいています。今年度も、贈呈いただいた「電話相談カード」は、令和3年度市内中学校新入学生徒に配布されました。



(宇治土公様と北村教育長)



## 令和3年度 伊勢市教育研究所職員

所 長		西村 朱美			
教育 研修 係	係長(兼)指導主事	世古 昭子	教育 支援 セン ター  N E S T   ス マ イ ル い せ		
	主事	梅森 裕		指導員	村上 真弓
	研修員	木村 真澄		指導員	森井 隆亮
情報 教育 係	副参事(兼)係長	村井 雅哉		研修員	岡 裕子
	主事	強力 大和		教育コンサルタント	藤原 厚
	ICTアドバイザー	出口 晃		教育コンサルタント	岡 俊晴
	ICT支援員	阿部 公恵		児童生徒自立支援員	沖見 亜里紗
	ICT支援員	奥村 都代		通級バス運転手	南端 弘紀
	ICT支援員	岡咲 愛		教育コンサルタント	勢力 よしみ
	ICT支援員	山本 彩由季		教育コンサルタント	中村 泰彦
	ICT支援員	山本 彩由季		教育コンサルタント	橘 泰平
	ICT支援員	松田 勇治		臨床心理士	中瀬 由紀子
	ICT支援員	岡本 武士		臨床心理士	前川 知奈美
	ICT支援員	高山 展昭	臨床心理士	長瀬 真	
ICT支援員	高橋 瑠美				

### 4月から新しく仲間になった ICT 支援員をご紹介します！！



松田さん



岡本さん



高山さん



高橋さん

～わたしたちも、これから学校に伺います。よろしくお願いいたします。～

(表のこたえ・・・)

A 「運転手はなくなるが、車掌はなくなるだろう。」というのが答えです。運転に関しては、AIによる自動運転が可能であるが、車掌は急病人や乗客のトラブル対応など想定外の事象に対応しなければならない。判断し、行動した結果、責任を負うのは人間にしかできず、ビッグデータに基づく行動しかできない AI では対応しきれないからだそうです。

…このような課題を通して、子どもたちに多様な価値を認め合うしなやかさと、クリティカル・シンキング(批判的思考力)に基づく「想像力・創造力」を育みたいものです。

